

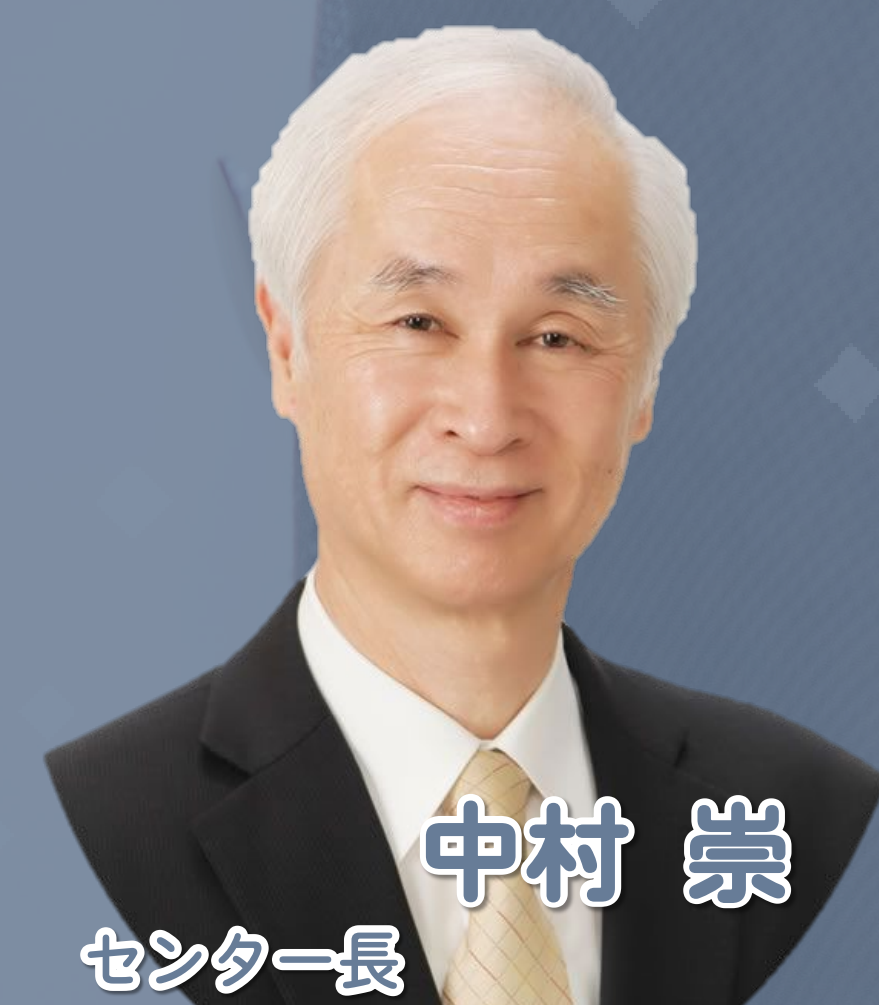
リ総研と3R 共同研究を始めてみませんか？

産学官民による共同研究の円滑な推進

研究成果を事業化するためのコーディネート活動

▶ 資源循環ビジネスの育成

全国でも例が少ない自治体が出資・設立した3Rに関する新技術・社会システムの構築・事業化支援機関



中村 崇

センター長

(工学博士) 平成29年(2017年)4月 就任

研究開発実践支援

主な研究支援成果

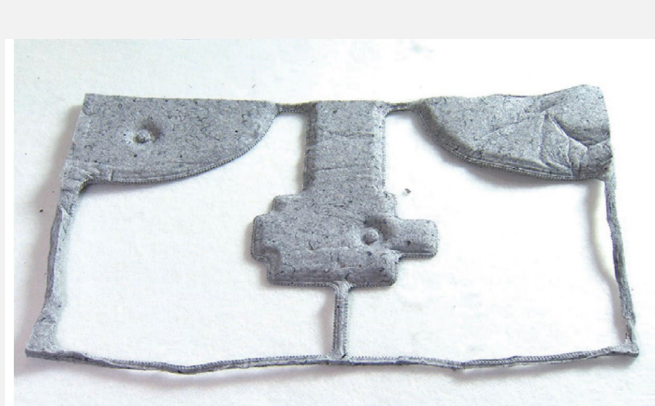
紙おむつリサイクルシステム トータルケア・システム

従来は焼却処理されてきた使用済み紙おむつのリサイクルシステム(回収→水溶化処理→再資源化)を構築しました。環境省ガイドライン策定時に参考とされました。焼却処理に比べCO₂排出量を約40%削減できます。



ポリエステル不織布端材のリサイクル フコク

ポリエステル不織布の製造・加工工程で発生した端材から、低コストで品質の高いリサイクル不織布を開発しました。現在は、自動車用吸音・断熱材に使用されています。



使用済み切削工具のリサイクル 丸和技研

廃棄物処理されている使用済みサーメットチップを、有効活用するリサイクル技術を確認しました。開発された耐摩耗鋼板は、製錬所の鉱石粉碎機内の保護プレートとして採用されています。



えそ魚醤 博水

かまぼこ等に使用する魚すり身の製造工程で取り除かれる魚滓(あら)から、「博多魚醤 えそ醤(びしお)」を開発しました。



園芸用培養土 大石物産

浄水ケーキにトリコデルマ菌911株を付与・固定し、栄養源としてのシュレッター古紙、保存性向上のための規格外の園芸用軽石を混合した新たな土壌サプリメントを開発しました。



濃縮バイオ液肥製造

三菱ケミカルアクア・ソリューションズ



福岡県築上町で、尿・浄化槽汚泥を原料として製造されていた液肥について、窒素成分を約17倍に濃縮できるしくみを構築しました。

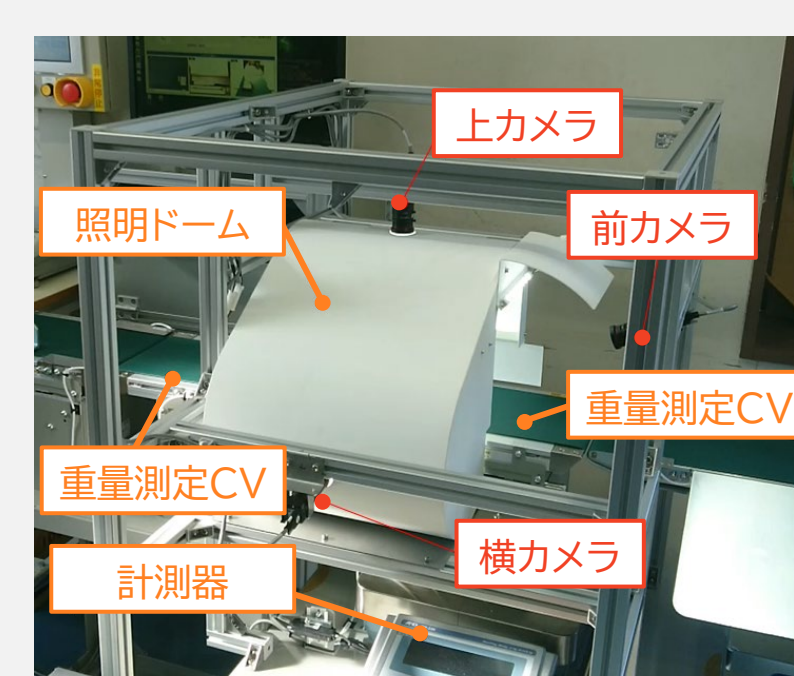
濃縮液肥は、濃縮と同時に液肥中の繊維も除去されることから、かん水チューブでも利用可能です。



AIによる廃棄小型充電式電池の仕分け自動化システム

日本磁力選鉱

AI及びセンサーにより種類別(ニカド電池、ニッケル水素電池、リチウムイオン電池等)・用途別(パソコン、携帯電話等)に自動的に仕分けするシステムを全国初で開発し、廃電池自動仕分け設備を完成させました。



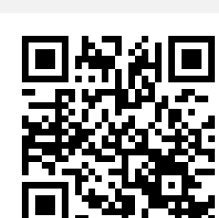
高性能フォーミング抑制材 リックス

人工大理石の端材及び不良品等を利用してフォーミング抑制材を開発しました。研究会で、素材の種類、量及び形状を工夫することで、高性能化に成功しました。



アカモクエキス 佳秀工業

規格外品で廃棄されていたアカモクを、乾燥、ろ過させアカモクエキスを抽出することができました。このエキスの販売と、エキス含有化粧品品の製品化を行いました。



醤油粕から 天然ヒト型セラミドの抽出 ジェヌインR&D

福岡県醤油醸造協同組合で、大量に発生している醤油粕から高純度の天然ヒト型セラミドを安定的に生産する技術を確認しました。



絶縁油リサイクルシステム キューハン



柱上変圧器の修理時に発生する使用済絶縁油を再生処理する技術を確認し、再度絶縁油として利用するための低負荷・低コストなリサイクルシステムを構築しました。



政策的な取組

廃棄太陽光パネルのリサイクル



太陽光パネルの将来的な排出量増加に備え、平成30年度から、パネルのリサイクルを推進するための協議会を設立し、「廃棄太陽光パネルスマート回収システム」を構築しました。



食ロス削減



安定的で持続可能なフードバンク活動を目指し、食品寄贈企業の開拓等、フードバンク団体を支える仕組みとして、(一社)フードバンク協議会の設立を支援しました。

- 寄贈食品の受付(窓口の一本化)と管理
- 食品寄贈企業や支援企業等の開拓
- 既存のフードバンク団体の活動範囲拡大及び新規フードバンク団体の立上げ支援などの支援事業
- フードバンク活動支援システムの運用
- 啓発活動、政策提言を含む広報事業



医薬品ボトルの回収・再資源化事業

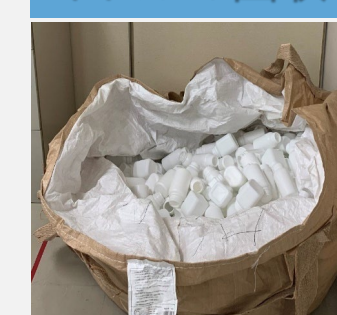


プラスチックの資源循環を促進するため、(公社)福岡県薬剤師会および大日本印刷と協同して、全国に先駆けて使用済み医薬品ボトルを回収しリサイクルする実証事業に取り組みました。その結果、医薬品ボトルをリサイクルした製品を製作し、事業に参加した薬局の一部で利用者に配布しました。

ボトルの回収

再生原料化(ペレット化)

再生製品化



ふくおか発
3Rオープンイノベーション

ふくおか3Rメンバーズ 会員募集中

詳細・入会申し込みは
こちらから



公益財団法人福岡県リサイクル総合研究事業化センター

〒808-0135

北九州市若松区ひびきの2番1号 産学連携センタービル4階

TEL.093-695-3068 FAX.093-695-3066

http://www.recycle-ken.or.jp/

